

つうしん
「うちどく」通信～2021.6～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



提出数/人数 (欠席)

1年	13/13	2年	18/18
3年	22/23	4年	16(1)/17
5年	22(1)/23	6年	19(1)/20
全校			
110(3)/114			



1年 H・Y 『そらまめくんとめだかのこ』 Eナ 読んだ人・聞いた人:Y・お母さん
ゆうき:おまめがたくさんできてみんなであそぶのがおもしろかったです。
お母さん:自分のベッドがぬれるのが嫌だと言っていたそらまめくんが、メダカのために迷いなくベッドをぬらして助けたのが良いなあと思いました。

1年 I・M 『しろくまちゃんのホットケーキ』 Eフ 読んだ人:M 聞いた人:お母さん
みさき:しろくまちゃんのホットケーキがおいしそうだった。
お母さん:一番上の子(現在高2)の時から読んでいた絵本。久しぶりに読んだら赤ちゃんの時のことをおもいだします。日曜日にホットケーキと一緒に作る約束をしたので作ってみようと思います。

2年 T・A 『びっくりスイーツ』 59テ 読んだ人:A 聞いた人:お父さん
あかり:スイーツがおいしそうでした。つくってみたいです。
お父さん:最近料理に興味があるみたいです。おいしいスイーツを作ってもらいたいと思いました。

2年 S・T 『いちにちおばけ』 Eフ 読んだ人:T 聞いた人:お母さん
ちはる:この本に出てくるミイラ男は、けがをした子をたすけるのでこの本の中のミイラ男はやさしいなあと思いました。
お母さん:いたずらシリーズは他にも読んだ事があります。怖い存在であるおばけになってみることでそのおばけの特徴を「たのしさ」に変換する発想がおもしろいと思いました。

3年 I・R 『かぶとん』 Eミ 読んだ人:お姉さん 聞いた人:R・お母さん
りょう:かぶとんがさいしょはよかったけど、ありじいさんのおかげで力もちになったのですごいと思いました。
お母さん:いじわるをしたかぶとむしを助けたかぶとん。「なんでいじわるをしたのに助かったんだろう?」とるように聞いてみると「死にそうやったけん助けんと!」と言いました。「りょうもいじわるした人を助けると?」と聞いてみたら「もちろんやろ!」という返事。心温まる絵本でした。

3年 T・H 『あなたのいえわたしのいえ』 52カ 読んだ人:H 聞いた人:お母さん
ひなの:いえがないとこんなにたいへんで、こんなにこまるとおもいませんでした。
お母さん:今はあたりまえのように住んでいるけど、昔の人たちが便利になるよう工夫してきたから、今の暮らしがあるんだなあとあらためて考えさせられる本でした。

4年 M・D 『オニのサラリーマンしゅっちょうはつらいぜ』 Eト 読んだ人:D 聞いた人:お母さん
だいち:一番最後の場面が歌のようになっていて、そこがおもしろくて9回も読みました。
お母さん:出張先の出雲には七福神やサンタさんもいて豪華メンバーばかり。子どもも大人も楽しくめる本でした。

4年 T・K 『チョコちゃんにしかられる』 Eエ 読んだ人:K 聞いた人:お父さん
こうたろう:ごちそうさまのいみがわかったから、今日から心をこめてごちそうさまを言う。
お父さん:一つのあいさつにもたくさんの言い伝え、ストーリーがありとてもおもしろかったです。

5年 H・Y 『くりちゃんのふしぎながつき』 Eハ 読んだ人:Y 聞いた人:お母さん
ゆうな:まず、借りる前にこの題名が気になって借りたらずごくおもしろくて、特に良いなと思ったのは最後、くりちゃんとみかりんが話し合ってみなでなかよく遊んでいたのがよかったです。弟に読んであげたら喜んでいました。
お母さん:うまいかない者同士でも素直に話を聞いてお互いの良いところをほめ合って仲良くなっていく様子が子どもの勉強になるかなあと思いました。

5年 H・Y 『5分後に不思議の国のラスト』 913コ 読んだ人:Y 聞いた人:お母さん
ゆかり:この本の一部の「小さい人と白い花」という話の内容がすごいと思いました。小人のリシルをつかまえたヒョロリが悪夢を見続け、ついには眠れなくなりました。小人のリシルは白い花のユーステラと出会い脱出しようとしたがリシルはつかまえてしまいました。けれども悪夢からのがれたいとヒョロリはリシルをにがし悪夢から解放されました。全部すごい内容だったので皆さんにも読んでもらいたいです。
お母さん:ユカリが読んだ後に借りてお母さんも読ませてもらいました。一冊の中にいくつか話があって全部おもしろかったです。

6年 T・K 『100万回生きたねこ』 Eカ 読んだ人:K 聞いた人:お母さん
かいおう:ねこはまちがえて、まっぶたつにされたり、犬にかみころされたり、ひもが首にまきついたりして死んでいてとても不幸でかわいそうだなあと思いました。
お母さん:ねこは100万回も生きたのに1回も幸せじゃなくて、でも最後の一生が幸せでよかったと思いました。

6年 H・R 『たくさんのドア』 Eマ 読んだ人:R 聞いた人:お母さん
りおな:たくさんのドアを読んで確かに毎日いろんなものに出会って初めて見るもの、自分の強さなどがわかるなあと思いました。まだ自分の本当の強さや弱さ、いろんなことがわからないから、これからもっといろんな自分を見つけて毎日いろんなものに出会えるようにしようと思いました。
お母さん:たくさんのドアを開いて、自分の気持ちにはとてもたくさんのドアがあるのですね。小さいドアから大きなドアがあっておもしろかったり、物がありますね。理央菜にはどんなドアがあるのでしょうかね。